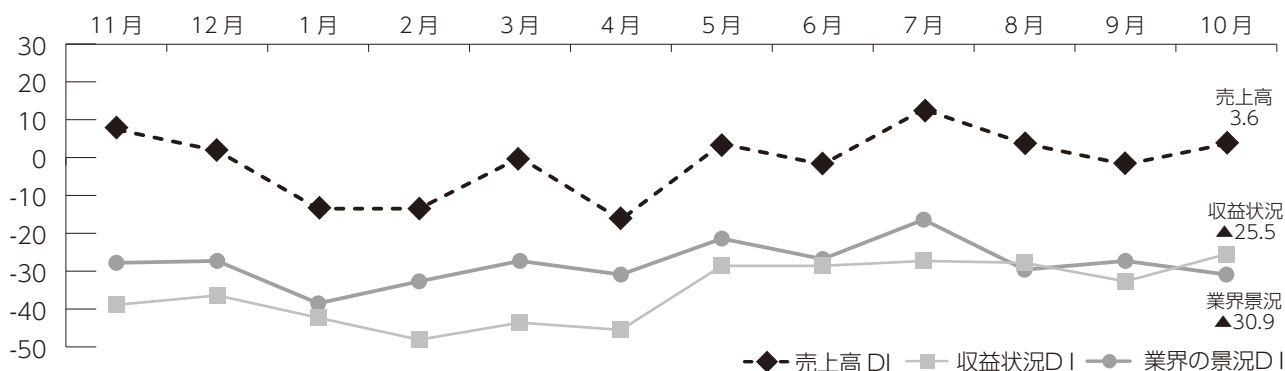


人手不足やコスト増で厳しさ続く

概況

製造業については、自動車関連が好調な一方で、人件費・原材料費・光熱費の上昇による収益の悪化が続く。商店街では、イベント等で賑わいがみられるも、物価高騰や暖冬による季節商品の動きの鈍さが課題。また、多くの業種が深刻な人手不足に直面し、対策に追われる中、インボイス制度が始まり小規模事業者では対応に苦慮しているとの声が聞かれた。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	サービス業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 賃金や光熱費の上昇が課題となっている。電気料金については今後も上昇する見込みで、先行き不透明感は依然として強い。</p> <p>[菓子] 晴天に恵まれたことで人出が多く売上は増加した。一方、一部洋菓子店では収益の悪化がみられる。</p> <p>[めん類] 原材料費と副資材費の上昇が収益の悪化を招いている。</p>
織 維 製 品	<p>[刺繍] 組合員の業績の二極化が顕著になる。全体で見ると売上は減少し、景況感は悪化。</p> <p>[織物] インテリア製品に関する広幅織物は新商品開発をしており今後に期待。</p>
窯業・土石	<p>[コンクリートブロック] 資材価格が上昇している。また、ドライバーが不足しており配送計画が組みにくい状況。</p> <p>[生コンクリート] 公共工事の多い吾妻地区と大規模改修工事のある東毛地区では出荷量が多かったが、他の地域は低調であった。</p> <p>[碎石] 今年度前期の出荷量は前年対比で15%程度減少している。</p>
機械・金属	<p>[機械金属（高崎市）] 自動車関連の引き合いが多く、全体で見ると回復基調にある。一方で資金繰りに苦慮する組合員もみられる。</p> <p>[機械金属（館林市）] 小規模の組合員においては、価格転嫁に理解を示されず収益状況が悪化。加えて、コロナ融資の返済が始まり、厳しい状況が浮き彫りとなっている。</p> <p>[めっき] 人材確保や離職防止のために賃上げをせざるを得ない状況。</p> <p>[半導体製造装置] 来夏まで半導体需要は高まる見込み。</p> <p>[医療機器] 普及機の国内需要はあるものの、中国市場の冷え込みが影響し減産傾向にある。高級機においても、ロシアへの供給停止を受け減産となっている。</p>
そ の 他	<p>[ゴム製品] 業況が好転する企業もみられる中、人手不足の状況が続く。</p> <p>[家具] 受注状況は低迷しているものの、若干の回復傾向がみられる。</p> <p>[印刷] 資材価格の上昇に落ち着きがみられ、コロナの影響はなくなりつつあるが、中東問題による原油価格の影響を不安視。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[建材] 住宅やオフィスにおける高価格帯の改修・リフォーム需要が堅調で、売上は増加。また、原材料費の高騰を製品価格へ転嫁したため、販売価格は上昇した。</p> <p>[再生資源] 鉄屑の国内市況は軟調で様子見の状況。海外市況は中国経済の減速と中東情勢の影響から下落局面となっている。</p>
小 売 業	<p>[石油] 燃料油価格激変緩和補助金の適用により、販売価格は前月比低下も前年比上昇であった。緩和措置期間が来年4月までと発表され、寒い時期に値上げとなる不安は解消された。</p> <p>[生花] 猛暑の影響もあってか著しい花材不足となり、仕入価格が高止まりしている。</p>
商 店 街	<p>[高崎市] 街中でイベントが毎週開催され、週末は賑わいをみせる。物販については、価格高騰の影響もあり厳しい状況。</p> <p>[藤岡市] 暖冬の影響を受け、秋冬季節商品の動きが鈍い。</p> <p>[沼田市] 商店街南方の大型ショッピングモールにスーパーマーケット・ドラッグストア・飲食店等が順次開店していくため、人の流れの変化が予測される。</p>
サービス業	<p>[草津温泉] 宿泊者数は前年並みだが、単価の見直しと外国人宿泊者の増加に伴い、売上は増加した。一方で人手不足が深刻化しており、使用する客室の抑制や派遣社員で補う旅館もみられる。</p> <p>[伊香保温泉] 団体旅行需要の高まりは感じられるも、コロナ禍で個人客向けに改装したことで、受け入れられる旅館は限られる。</p> <p>[建築設計] 建築物省エネ法改正により2025年4月以降に着工する全ての建築物に「省エネ基準」への適合が義務付けられるため対応が求められる。</p>
建 設 業	<p>[建設工事] 資材の価格上昇が続く中、人件費も上昇しており、収益状況は悪化。また、人手不足と高齢化が課題となっている。</p> <p>[電気工事] 需要の回復はみられるも、銅線を中心とした部品価格が上昇しており、収益の改善はみられない。</p> <p>[鉄骨工事] 鋼材価格が徐々に下がっている状況。また、来年以降の引合いは増加している。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 燃料は補助金の適用となったものの、依然として高値であり収益を圧迫している。気温が高かったため飲料水の荷動きが好調も、資材関係が低調で長距離輸送の需要は落ち込んだ。ドライバー不足や労働時間短縮のための高速道路利用経費の増加が課題。一方、荷主が荷卸しの時間予約システムを導入し、待機時間を改善する動きもみられる。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。